

2020 年 10 月改定

予 防 接 種 の 受 け 方

ワクチンは子どもたちを感染症から守るためにとても大切なものです。子どもたちの健康づくりのために、ぜひワクチン接種を受けて下さい。

生後 2 か月が「ワクチンデビュー」。多くのワクチンがありますが、順に受けていって下さい。

2020 年 10 月にロタワクチンが定期接種になりました。また、異なる種類のワクチンとの接種間隔が改定され、より受けやすくなりました。



他のワクチンとの間隔

2020 年 10 月より、種類の違うワクチンを受ける際の間隔についての制限が大幅に緩和されました。

注射生ワクチン同士では効果が減弱することがあるため**4週間（中 27 日）以上あける**ことになっていますが、これは変更がありません。

その他の場合は接種間隔について、制限はすべてなくなりました。例えば不活化ワクチン、経口生ワクチン接種後に日数をおかず、他のワクチンの接種を受けることができます。注射生ワクチン接種後についても、不活化ワクチンと経口生ワクチンであれば制限はありません。

【参考】

○**注射生ワクチン**：BCG、麻疹・風疹混合、おたふくかぜ、水痘など

○**経口生ワクチン**：ロタウイルス

○**不活化ワクチン**：ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、B型肝炎など



2020年10月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
不活化ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	□□□		①②		③											
生ワクチン ロタウイルス (飲むワクチン) 定期	1価 □□ 5価 □□□		①②	③												
不活化ワクチン ヒブ 定期	□□□□		①②③													
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	□□□□		①②③													
不活化ワクチン 四種混合 (DPT-IPV) 三種混合・ポリオ 定期	□□□□		①②③													
生ワクチン BCG 定期	□			①												
生ワクチン MR (麻しん風しん混合) 定期	□□															
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	□□															
生ワクチン おたふくかぜ 任意	□□															
不活化ワクチン 日本脳炎 定期	□□□□															
不活化ワクチン インフルエンザ 任意	毎秋															
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス) 定期	□□□															
不活化ワクチン 髄膜炎菌 任意	□															
渡航ワクチン	□															

0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけて受けます。1歳以上でも未接種の場合は、できるだけ早く受けることをおすすめします。(任意接種)

ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要です。

百日せきの感染予防の目的で三種混合ワクチンを1回受けます。(任意接種) WHOもこの時期の追加接種を推奨しています。

二種混合 (DT) : 11歳で追加接種 (接種対象11-12歳)

1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・MR・水痘・おたふくかぜの6本を同時接種で受けることもできます

海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)

海外では三種混合ワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)

幼稚園、保育園の年長の4月～6月がおすすめ

かかったことがない人は2回受けましょう。(※)

標準的には3歳から接種しますが、生後6か月から受けられます。

①②③

9歳で追加接種 (接種対象9-12歳)

毎年、10月から11月ごろに接種しましょう。

小学校6年生になったら受けましょう。(定期接種の対象: 小6から高1の女子)

日本産科婦人科学会など関連団体も接種を推奨しています。

2歳から受けられます。海外留学や寮生活をする人などは接種を推奨しています。

海外渡航の際には、上記のほか、黄熱、A型肝炎、狂犬病などワクチン接種が必要な場合があります。渡航が決まったら、なるべく早くトラベルクリニック等で予防接種の相談をしましょう。

- 不活化ワクチン** **定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 **定期予防接種の対象年齢** **〰〰** おすすめ接種時期(数字は接種回数) **〰〰〰** 添付文書に記載のないおすすめ接種時期 (※) 添付文書に記載はないが、接種を推奨
- 生ワクチン** **任意** 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。 **任意接種の接種できる年齢** **〰〰〰** 異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/> **VPD** **検索**